

実施計画名	ReLIVE BUDO RE:FRAME – Tradition in a New Light — 武道を“再構築”し、現代の光で照らす。				
■実施概要					
主 催 者	立命館大学	実施 種 目	武道（剣道、柔道、日本拳法、空手、少林寺拳法、合気道他）	対戦チーム	同志社大学、京都産業大学、京都大学
実 施 時 期	2025年12月22日（月）	実 施 場 所	立命館大学大阪いばらきキャンパス（OIC） 立命館いばらきフューチャープラザ（グランドホール他）		

■ホームゲーム内容

武道種目（剣道、柔道、空手、日本拳法、古武道等）を単なる競技としてではなく、舞台芸術として劇場型ホールで演出・表現することにより、観戦体験の新たな価値、スポーツとクリエイティブの融合を通じた新たな学びの場を創出する。

○舞台ステージでの共創型「武道イベント」（映像・音響・照明を駆使した武道大会）の開催。＊剣道、柔道、空手、日本拳法の試合、少林寺拳法の演舞など

○表現系団体による「伝統文化の発信」をテーマとしたパフォーマンス実施

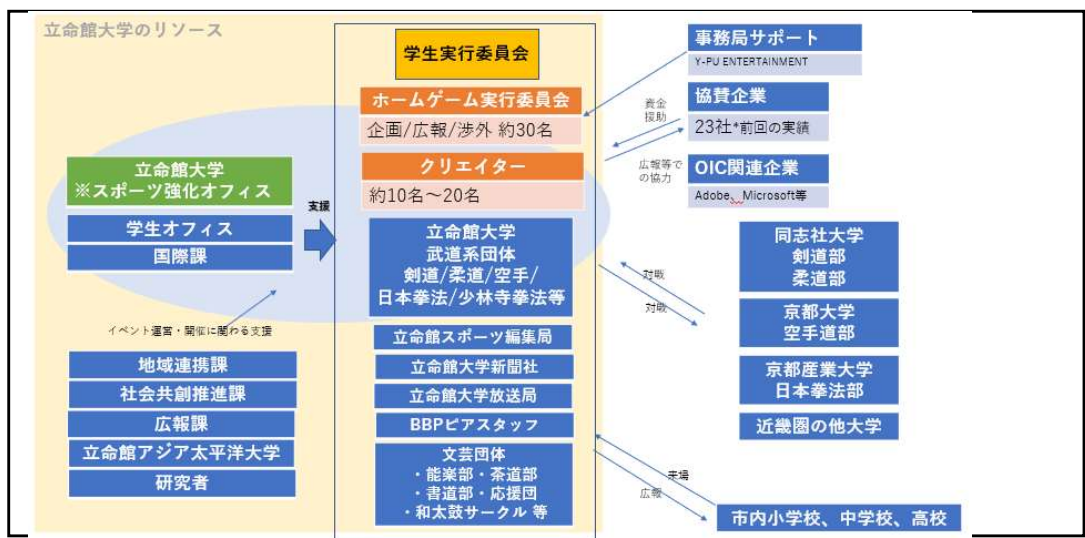
＊能楽、書道、よさこいパフォーマンスなど（新たな層への訴求）

○大学スポーツムーブメントを創出するためのプロモーション企画

・体験会（地域住民・留学生・在学生向けに企画）＊空手/相撲/茶道体験会など

○武道を歴史的な観点から研究している研究者による解説・監修

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず関連する大学や団体等との連携体制も示すこと）



■大学スポーツムーブメントを創出するための施策

- ①新たな層（学生クリエイター、留学生、表現型団体）の巻き込み
- イベントの映像・音響・照明等の演出を担う学生クリエイターは新たに学内で募集、育成し、イベントにわたって構成や内容を学生アスリートと共創予定である。また、課外自主活動参加率の低い留学生も運営から巻き込み、来場者増加につなげることで、日本文化や伝統芸能に興味のある層も巻き込むことで、大学スポーツに興味のなかった新たな層の巻き込みに取り組む。
- ②大学スポーツムーブメントを創出するためのプロモーション企画
- スポーツを「観る」だけでなく、「体験し、応援し、楽しむ」文化を醸成し、幅広い層がスポーツに親しむことのできる“参加型スポーツエンターテインメント”を目指し、当日ホワイエで縁日ブース、武道（空手・相撲等）の体験会を実施する。その他、武道とあわせて能楽・書道・茶道など日本文化を体験できるコンテンツを企画・実施することで、多様な層への訴求を図る。
- ③他キャンパスへのオンライン配信
- 当日の様子は録画し、後日Youtube等オンライン媒体で配信すること、滋賀県・京都府・大分県にある他キャンパスで学生が集まる食堂や寮等で動画を配信することで、各キャンパスを拠点とする留学生・在学生を中心に、より多くの人へ大学スポーツを観戦する場所と機会を提供することで、普段応援機会の少ない武道系スポーツを応援する文化の醸成を図る。

■翌年度以降も持続可能な取組とするための手法

- ・資金：日本文化の発信や体験といった付加価値を付け加えることで、有料イベントとして集客につながる仕組みを構築するとともに、縁日企画など模擬店企画で実施するサブコンテンツにおいても収益化を図る。また、OICが有する企業とのネットワーク、イベント等も活用し、協賛企業の募集推進をおこなう。
- ・組織：多様な学生と大学の共創の場として設計し、広く参画学生を募集する。ノウハウを蓄積・継承できるよう学生組織の支援を行い、組織強化を図る。